

出向く宮農レポート

～稲のカメムシ対策について～

訪問日:8月4日



北部宮農センター
村瀬 雄飛

今回は、瀬戸市下半田川町で「ミネアサヒ」と「こはるもち」を育てている前田晴美さんの田んぼを訪問しました。ミネアサヒは粒立ちが良く、あっさりとした食味が特徴のうるち米で、こはるもちは甘味ともちもち感、強い風味が特徴のもち米です。



今回は、以前から精米後に黒い斑点を生じさせると問題となっている斑点米カメムシ対策として、スタークル粒剤の使用を提案しました。高い殺虫効果と斑点米抑制効果に優れ、効率的にカメムシを防除できるため、収穫時の品質保持にも繋がります。

収穫は9月中旬ごろ予定。現在は天候を見ながら水の管理等を行っています。また収穫後は、稲わらのすき込みや早期の雑草管理、土壌の栄養バランスの見直しなど、次作に向けた圃場整備も必要となります。

今後も安定した品質と収量を目指して、生育環境に応じた指導を続けていきます。

斑点米カメムシ対策

スタークル粒剤

- 使用量: 3kg/10a
- 使用時期: 収穫7日前まで
- 使用回数: 3回以内

